*学校防災マニュアル（地震津波災害）*

*作成例*

**１　実効性のある「学校防災マニュアル」にするために**

|  |
| --- |
| ○学校が所在する災害特性に応じた学校独自のマニュアル作成が基本である。  ○マニュアルに基づいた訓練や研修等を繰り返し行い、①訓練→②評価→③改善のための整備をすること。  ○マニュアルの作成・見直しにあたっては、校内防災委員会等の組織を中心に行うとともに全職員が評価・改善のプロセスに関わる工夫をすること。  ○学校だけでなく、マニュアルの内容を保護者や地域住民等に周知するとともに、連携体制を構築していくこと。 |

**２　本書の活用について**

|  |
| --- |
| ○本書は、「学校防災マニュアル（地震津波災害）作成の手引き」（H２４文部科学省）及び「学校保健・安全・給食管理の手引き」（H21　岡山県教育庁保健体育課）等を基に作成した見本を例示している。  ○各学校ではこれらの手引きと、この作成（例）を活用して、自校の防災マニュアルを再度点検のうえ、マニュアルに基づく訓練の実施や検証を併せて行い、実効性のあるものにすること。    **本書データダウンロード→ホームページ「岡山県教育庁保健体育課」** |

平成２５年１月　岡山県教育庁保健体育課